

2024年7月

かんべ小児科



病児保育だより



7月に入り、これから本格的な夏が始まろうとしています。室内外の温度差や気候の変化などで体調を崩しやすくなったり、手足口病や咽頭結膜熱(プール熱)、ヘルパンギーナなどの夏風邪も流行する時期です。睡眠や栄養をしっかりとって免疫力を高め、夏を元気に過ごしましょう。



ヘルパンギーナとは？

ヘルパンギーナとは、夏から秋にかけて流行する夏風邪の一種です。

主にコクサッキーウイルスによって引き起こしますが、原因となるウイルスの型が数種類ある為、何度もかかってしまうことがあります。乳幼児に多い感染症ですが、まれに大人の方も感染することがあります。

主な症状

39～40℃の急な発熱と喉の奥にできる水疱が特徴です。扁桃腺の上の方に水疱が数個から十数個できることがあります。水疱が破れると口内炎のような潰瘍になり、痛みが強まります。よだれが増えたり、痛みにより食欲が低下したり水分が取れなくなることもある為、脱水症状には注意が必要です。こまめな水分補給と、栄養面よりもまずは食べやすいものを優先して、しみないものや柔らかいものを選び、少しずつ食べさせてあげましょう。

治療方法

特別な治療薬はありません。口腔内の痛みや脱水や摂食困難に対する対症療法になります。

潜伏期間・感染経路

潜伏期間は2～4日で、感染経路は、せきやくしゃみなどで感染する飛沫感染や唾液や鼻水のついたおもちゃなどの貸し借りで感染する接触感染、便から排出したウイルスが手に付着することにより感染する糞口感染です。

予防方法

- せきエチケットや手洗い・うがい
- おもちゃや食器、テーブルなどの洗浄・消毒
- おむつ交換後の十分な手洗い(症状が治まった後の便にも数週間ウイルスが存在します)

登園のめやすは？

発熱がなく、食事が摂れるようになったら！
園によっては許可証が必要な場合もある為、通っている園に確認しましょう。

6月に利用された方の病気

- ・気管支喘息 ・咽頭結膜熱
- ・急性中耳炎 ・急性胃腸炎
- ・喘息性気管支炎
- ・感冒性胃腸炎
- ・反復性耳下腺炎

など



かんべ小児科 病児保育室

お気軽にお問い合わせください！

TEL:0956475711

090-3206-5711 ※お電話は診療時間内に

(保育室直通)

お願いいたします！

